

つゆの目覚め

森野 水琴

暗闇に包まれた大きな葉に つゆが宿される

夜の静寂しじまに つゆの密ひそやかな佇たたずまいを見て 月が微笑む

なんと静かな夜だろう

夜が白々と明けていき つゆが取り残された姿を浮かび上がらせる
朝の気配が 夜に別れを告げ 葉の中央に つゆをいざなう

さあ 朝の清めに出かけよう